

安全上のご注意

●ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
●ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損したり、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	警告 加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	警告 小さいお子様だけの使用は避けてください。 やけど・けがをするおそれがあります。
警告 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	警告 器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。	警告 台付仕様の場合 キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。
警告 壁付仕様の場合 湯側ソケットは給湯側の高、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。 やけどをするおそれがあります。	警告 高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。	警告 湯水をお使いになる前に、必ず手で湯温かどうか確かめてください。 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。
警告 シャワー仕様の場合 お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。 吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。	警告 湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯温を調節し、お好みの温度に調節してください。 湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。	警告 レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
■イラストは参考です。仕様により異なります。
●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
やけど、漏水をした場合の処置 やけどをした場合は、すぐ、その箇所を水で濡しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。	シャワー仕様の場合 シャワー使用後は、吐水切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。 吐水切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。	高温の湯をお使いの際は、必ずレバーを水側にして、しばらく水を流してから止水してください。 水を流さないで次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合があるので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。 湯温が安定してからしばらく吐水させないと、やけどをするおそれがあります。
シャワー仕様の場合 シャワーには60℃以上のお湯を通過させないでください。 通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。	寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、漏水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	配管などの解凍のため解凍機をご使用の場合、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。 めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。
器具に当たったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	シャワー引き出し仕様の場合 本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。 湯水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。	器具に当たったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。 水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ

快適にお使いいただくために

(お願い) 各部品の形状など、仕様の異なる場合があります。

止水栓の調整方法

(1) 湯側 操作レバーを全開にした後、左側（湯側）一杯に回して、吐水の太さを確認してください。	(2) 水側 操作レバーを全開にした後、右側（水側）一杯に回して、吐水の太さを確認してください。	(3) 止水栓を右に回すと流量が少なくなり、左に回すと多くなりますので湯側の太さと同程度になるよう水側を調節してください。
--	--	---

注意 吐水されている湯や、吐水パイプ部分は高温になっていますので直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。	注意 キャビネット内の湯側（左側）の配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。 やけどをするおそれがあります。
---	---

(お願い)
止水栓が設置されていない場合は、水道メーター部の元栓で調節してください。
(ただし、湯・水の流量バランスの調節はできません。)

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。 水栓の品番をご確認ください 水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。 修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています。 技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用 部品代…修理に使用した部品代 出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用	KVK修理受付センター TEL 0120-474-161 上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは 058-234-8946 をご利用ください。 受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00 株式会社 KVK 本社・工場/〒501-1195 岐阜市黒野308 / TEL 058-239-3111 代表 インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/
--	--

■吐水口直結型浄水器を取り付ける場合は、下記条件を必ずお守りください。
尚、吐水口直結型浄水器を使用されますと、水栓の寿命が短くなったり、漏水が発生するおそれがあります。

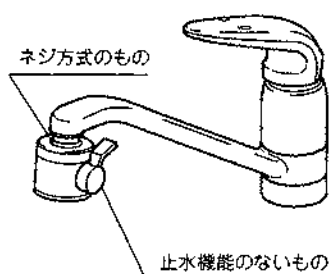
《条 件》

- * 止水機能付浄水器は使わないでください。
- * 吐水口への取り付け方式は、ネジ式のものにしてください。

(吐水口先端のネジ寸法は仕様により異なります。)

《ご了承ください》

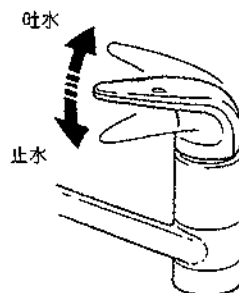
- * 吐水口直結型浄水器を使用の場合の故障は保証期間内であっても水栓の改造と見なし、保証対象外とさせていただきます。



吐水と止水、吐水量の調節

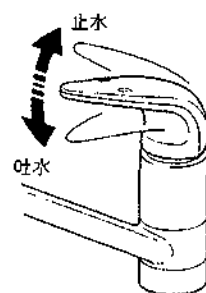
上げ吐水仕様の場合

操作レバーは左右どの位置でも操作レバーを上げると吐水します。下げると止水します。吐水量は上げるにしたがって多くなります。お好みの吐水量に調節してお使いください。



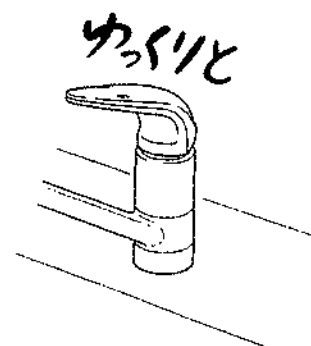
下げ吐水仕様の場合

操作レバーは左右どの位置でも操作レバーを下げると吐水します。上げると止水します。吐水量は下げるにしたがって多くなります。お好みの吐水量に調節してお使いください。



△ 注 意

操作レバーはゆっくり操作してください。

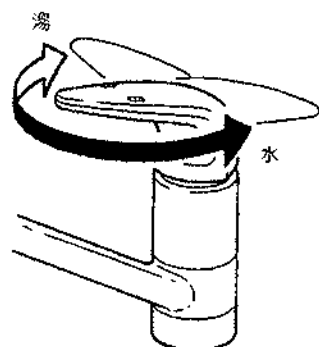


急激な操作は、操作レバーが傷んだり、「がたつき」の原因になります。

また、急に止水すると、配管内部の圧力が急激に上昇し、水撃音(ウォーターハンマーによる音)が発生したり、漏水で家財などを漏らすおそれがあります。

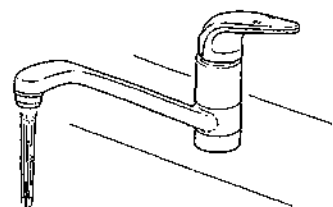
温度の調節

温度調節は操作レバーの回転でおこないます。操作レバーを右いっぱいにまわすと水、左にまわすにつれ、しだいに温度が上がり、左いっぱいでは最高温になります。お好みの温度に調節してお使いください。



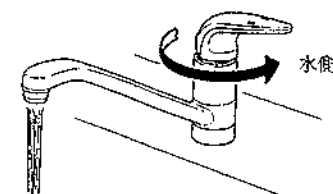
△ 注 意

湯温の確認は、配管中の冷めた水を流しきってからしてください。



湯温が急上昇して、やけどをするおそれがあります。

高温の湯を使った後は、しばらく水を流してください。



次に使用するとき、水栓内に残った高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

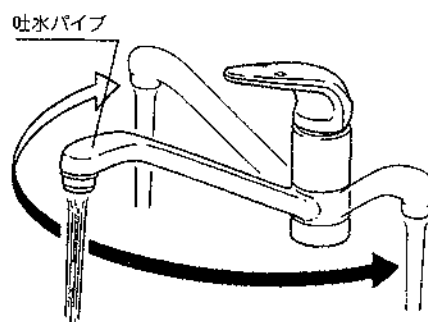
お湯を使うときには、操作レバーを水側(右側)で開けた後、湯温を確認しながらゆっくり湯側(左側)へ回してください。



湯側(左側)でいきなり吐水すると、やけどをするおそれがあります。

吐水位置の調節

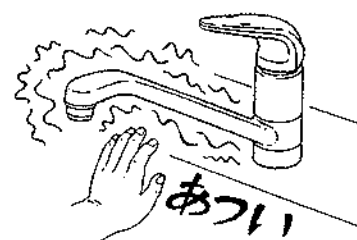
吐水位置は吐水パイプの左右回転の範囲内で選べます。吐水パイプ部分もち、左右いずれかに回転させて、お好みの位置に調節してお使いください。



(お願い)
やけどをしないよう、十分注意しておこなってください。

△ 注 意

高温の湯の使用時、また使用の直後は吐水パイプ、本体に直接肌を触れないでください。



やけどをするおそれがあります。